



花崎北小学校だより

学校教育目標「かしこく やさしく たくましく」

令和5年度
10月号
児童数254名

「〇〇といえば？」

校長 藤井 真仁

9月の後半になっても、テレビからはお天気キャスターの「明日も真夏日となるでしょう。」「今年は記録的な残暑となっています。」といった声が、連日聞こえてきました。でも、ようやく朝晩は秋らしい空気を感じられるようになってきました。

さて本校では、先日、集会委員が中心となって企画した「多いが勝ち集会」がオンラインで催されました。簡単にルール説明をしますと、『〇〇といえば？』という質問に対してクラスで答えを1つ決め、全校の中で一番多かった回答をしたクラスにポイントが入る」というものです。例えば①「秋の食べ物といえば？」②「日本の有名な観光地といえば？」といった質問が出されていました。(ちなみに、一番回答が多かったのは①「さつまいも・焼きいも」②「富士山」でした。私は、0ポイントでした。)

集会後に私は、「花崎北小学校といえば？」について考えました。「元気な子どもたち」「広い校庭」「時計塔」など、いくつかの言葉が浮かんできました。また、子どもたちは何と答えるのか、保護者や地域の方はどうだろうかと思案してみました。回答はそれぞれだと思いますが、私が期待してしまうのは、本校の目指す学校像にある言葉です。(詳細は、本校HP内のグランドデザインをご覧ください。)これからも、「子どもたちが『通いたい』『保護者が『通わせたい』『地域が『応援したい』』と思える学校づくりに邁進してまいります。

開校から30年余りがたちますが、保護者・地域の方たちの「花崎北小学校といえば？」も年々変化していることと思います。機会がありましたら、「これまでの花崎北小学校といえば？」「今の花崎北小学校といえば？」の回答を聞かせていただければ幸いです。



二次元コードから、本校ホームページ内の「グランドデザイン」にアクセスできますので、ぜひ、ご覧ください。

学力向上に向けて ～県学力・学習状況調査結果について～

「秋といえば、勉強の秋！」ということで、5月に実施された県学力・学習状況調査(県学調)の結果についてお伝えします。県学調は、小4から中3が対象で、学力レベルの伸び(「学力の伸び」)が把握できるという特長があります。正答率で比較するだけでなく、1年間の伸びを見ることで、全体や個別の学習に生かすことができます。

4～6年生には結果を返却しました。ご家庭においては、伸びたところをほめたり、苦手なところを中心に家庭学習に取り組んだりするなど、結果を今後に生かしていただきたいと思案します。

本校の結果は、県の学力レベルと比較して、「4年：国語…同レベル、算数…少し上回っている」「5年：国語…少し下回っている、算数…少し上回っている」「6年：国語…少し下回っている、算数…少し上回っている」でした。全体的には、県とほぼ同レベルです。特に算数においては、昨年度から大きく学力を伸ばしており、昨年度の学習の成果が表れたと感じています。

質問紙調査の結果を見ると、「主体的・対話的で深い学びの実施」や「学習方略」「非認知能力」に関する数値がとても高く、今後、さらに学力が伸びていくことが期待できます。一方で、学年や個人によって差はありますが、ゲームやテレビ・インターネットの時間が長かったり、遅い時間までゲームやインターネットをやったりしている児童がいることがとても気になります。

今後、結果分析をさらに進めて、一人一人を確実に伸ばせるよう授業改善に努めます。

